

名古屋大学大学院 福和研究室

ぶるるってなんだろう？

紙ぶるるとは、地震に弱い建物の特徴を実験しながら楽しく理解できるペーパークラフト教材です。

紙で組み立てた課家模型を手で左右に揺らして、どんな時に大きく揺れるか？

どうしたらあまり揺れなくなるのかをあれこれ試してみましょう。



僕の名前はぶるる。
名古屋大学福和研究室の「振動実験教材」だぶるよ。
開発の始まりは、西暦2000年。

「運ぶ、回る、揺れる」
をコンセプトに「手回しぶるる」が誕生したぶる。
それ以来、たくさんの家族が生まれたぶるよ。

僕と一緒に、建物の揺れについて勉強してみようぶる☆

紙ぶるる Ver.3.4

★さあ、実際に新交いの力を体感してみよう★

全紙の作り 基礎の上に土を乗せ、紙の重なる部分に接着させてみよう。
紙の重なり部分と土の間に隙間が入らないように、2層目から入れ替わりして
下の層の紙の重なる部分の重なりを直してあげよう。
（紙の重なり部分の重なりは、両面テープで軽く止める）
どの層にも重なりが欠けて揺れるかな？
「重なり」部分のマークの位置にクリップをつけて揺れる重くしてみよう。
重い重なりと軽い重なりでは、どちらが大きく揺れるかな？

※左側は完成品、右側は途中経過のイメージです。

※紙の重なり部分には、両面テープを貼って固定してください。

※紙の重なり部分には、両面テープを貼って固定してください。

※紙の重なり部分には、両面テープを貼って固定してください。

（取組編）2セット分を組み合わせて4層建模型を作ることができます（左側完成品参照）

※紙の重なり部分には、両面テープを貼って固定してください。

※紙の重なり部分には、両面テープを貼って固定してください。

※紙の重なり部分には、両面テープを貼って固定してください。